

「周術期管理チームの介入による周術期経過への影響」に関する研究

1. 研究の対象

2022 年 4 月～2027 年 3 月に当院で麻酔科管理での手術を受けられる方

2. 研究目的・方法

【目的】

当院では周術期管理チーム発足後、外来での禁煙指導、外来での術後鎮痛法と、鎮痛に伴い発生する事象への対処法、注意点の説明、術後鎮痛の評価と病棟への提案など様々な活動を行っております。また、定期的なミーティングを行い、患者ニード、病棟ニード収集や管理チーム介入により生じた新たな問題、利点などにつき議論をしております。しかしながら、それらの活動が術後経過の改善にどの程度寄与したかまでは、十分に評価できていないと感じています。今回本研究において周術期管理チームの周術期患者への介入が周術期経過へどのような影響を及ぼしたかよりよい術後経過の提供へ向けて情報収集を行っていきます。

【方法】

周術期管理チームが関与した方々につき、パス逸脱頻度、臨床指標、患者満足度(痛みスコアや嘔気嘔吐などの副作用の有無と治療介入の有無)などが、関与しなかった方々と比較を行います。

【研究期間】2022年4月から2027年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術対象病名、手術術式、痛みの発生状況と程度、副作用等の発生状況とその程度、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871

大阪府吹田市山田丘 2-2

大阪大学大学院医学系研究科生体統御医学講座麻酔集中治療医学教室

電話：06-6879-3133

研究責任者氏名；山本俊介（やまもとしゅんすけ）